



## 下妻市にお住まいのWさん一家。

02



一軒家のリフォーム  
Shimotsuma City

地元出身のご夫婦とその子どもたち（中学1年生の男の子、小学3年生の女の子、そして生後半年の赤ちゃん）のご家族です。ご夫婦は中高の同級生で、ご主人は郵便局に、奥様は放課後等デイサービスに勤務されています。ご主人は元々バイクが好きで、最近バイクを再購入したとのこと。

下妻市の静かな住宅街に、新しい家を構えたWさん一家。空き家バンク制度利用の経緯と、彼らが抱く地域への思い、そしてこれからの夢について、詳しくお話を伺いました。



Q. 空き家バンク制度を利用した経緯を教えてください。

はじめに伝えておきますと、今住んでいる家は、空き家バンク制度で購入した家を更地にして、新しく建てた家なのです。元々、今の家に住む前から下妻市に住んでおりました。家が手狭になってきたので、家族全員が快適に過ごせる新しい家を建てたいと考えておりました。ハウスメーカーと新築の相談をする過程で、家を建てる土地を探していた際に、空き家バンクの存在を教えてくださいました。購入した土地は元々住んでいた場所の近所だったので、子どもたちも学校を変えずに済みました。



Q. 空き家バンクを利用する場合でも、空き家は更地にして、新しい家を建てるという選択もあるのですね。新しい家を建てる上で、特にこだわった点はありますか？

快適さを最優先に考え、家族みんなが過ごしやすい家を目指しました。家の設計段階で、3人目の子どもを授かるという、予期せぬ嬉しいニュースがありました。それで、少し大きめの家に計画を変更したおかげで、家族全員がゆったりと過ごせる空間になりました。

もう一点、家を建てる上で特に気にしたのは災害対策です。東日本大震災の時にちょうど宮城に住んでおり、災害対策の重要性を感じました。震災当時、被害の小さかった建物を建てていた工務店さんに新築を依頼しました。おかげで家は耐震性に優れています。屋根には全面に太陽光パネルも設置しました。太陽光パネルは破損が心配ですが、これまでゴルフボール大の雹が降ってきても割れなかったと聞き、採用することにしました。災害時も安心できますし、日々の電気代もお得になりました。



Q. 現在のお住まいで、更に改善したい点はあるですか？

今の庭は防草シートで覆われていて、少しもったいないと感じています。このスペースをもっと活かせたらと思っています。家庭菜園を始めたり、近所の皆さんとBBQを楽しんだり…。地域のつながりを深められるような素敵な場所にしたいですね。

Q. 行政のサポートはどのように活用されましたか？

空き家バンク制度を利用することで、通常通り購入するよりも安く土地を入手できたと思います。さらに、元々買おうとしていた土地よりもずっと広がったです。建っていた空き家と植栽の撤去費用は200万円ほどかかってしまいましたが、トータルでは費用を抑えることができました。また、新築時には、子育て支援の国からの補助金や、太陽光パネルの設置に対する下妻市の補助も受けられました。これらの支援があったからこそ、スムーズに家づくりを進めることができました。



Q. 現在の生活はいかがですか？

新しい家はとても快適です。周囲には病院やコンビニ、学校、公園があり、生活に必要なものがすぐそばにあります。夜も街灯があるので、安心して外出できます。何より、地元の人たちとの繋がりが深まったことが嬉しいです。子どもたちも近所の子どもたちと仲良く遊んでいますし、新しい家族の一員として迎えられた感じがします。

**Q. 空き家購入に際してのアドバイスはありますか？**

空き家バンク制度を利用することで、通常通り購入するよりも安く土地を入手できたと思います。さらに、元々買おうとしていた土地よりもずっと広がったです。建っていた空き家と植栽の撤去費用は200万円ほどかかってしまいましたが、トータルでは費用を抑えることができました。また、新築時には、子育て支援の国からの補助金や、太陽光パネルの設置に対する下妻市の補助も受けられました。これらの支援があったからこそ、スムーズに家づくりを進めることができました。

**Q. 地域コミュニティとの関わりについてはどうですか？**

地域コミュニティとの関わりはとても大切にしています。町内会に積極的に参加することで、地域の人たちとの絆を深めることができました。地域の行事にも家族で参加することで、地域に根ざした生活を送ることができています。地元の人たちとのつながりが、この地での生活をより豊かにしてくれています。

空き家バンク制度を活用して、既存の空き家をリノベーションする代わりに更地にして、新しい家を作る選択をされたWさん一家。制度を有効活用したこちらの体験談は、茨城県内で住宅取得を検討している方々にとって大変貴重な情報源となることと思います。ありがとうございました。